



インスタントメッセージングとプレゼンスサービスの設定

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー \(2 ページ\)](#)
- [IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)
- [IM アドレススキームの設定 \(3 ページ\)](#)
- [メッセージの設定の有効化 \(4 ページ\)](#)
- [インスタントメッセージの設定の無効化 \(5 ページ\)](#)
- [Q&A の管理プレゼンスの設定 \(5 ページ\)](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	IM アドレススキームの設定 (3 ページ)	ユーザの IM アドレスを設定します。
ステップ 2	メッセージの設定の有効化 (4 ページ)	Cisco Unified Communications IM and Presence サービスで、インスタントメッセージとログインを有効にするオプションを設定します。

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	メッセージの設定の有効化 (4 ページ)	Cisco Unified Communications IM and Presence サービスで、インスタントメッセージとログインを有効にするオプションを設定します。
ステップ 2	IM and Presence サービスの追加 (2 ページ)	IM and Presence UC サービスを作成します。
ステップ 3	IM and Presence サービスの適用 (3 ページ)	サービス プロファイルに IM and Presence UC サービスを追加します。

IM and Presence サービスの追加

IM and Presence サービス機能をユーザに提供します。

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)]インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management)]>[ユーザ設定 (User Settings)]>[UC サービス (UC Service)]を選択します。

[UC サービスの検索と一覧表示 (Find and List UC Services)]ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [新規追加 (Add New)]を選択します。

[UC サービスの設定 (UC Service Configuration)]ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [UC サービスの追加 (Add a UC Service)]セクションで、[UC サービスタイプ (UC Service Type)]ドロップダウンメニューから [IM および Presence (IM and Presence)]を選択します。

ステップ 5 [次へ (Next)]を選択します。

ステップ 6 次のように IM and Presence サービスの詳細を入力します。

a) [製品のタイプ (Product Type)]ドロップダウンメニューから [Unified CM (IM および Presence) (Unified CM (IM and Presence))]を選択します。

b) [名前 (Name)]フィールドにサービスの名前を入力します。

入力した名前は、プロファイルにサービスを追加する際に表示されます。入力する名前は必ず、一意的でわかりやすく、かつ意味が通じるものにしてください。

c) 必要であれば、[説明 (Description)]フィールドに説明を入力します。

- d) [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)]フィールドに、インスタントメッセージ/プレゼンスサービスのアドレスを入力します。

重要 サービスのアドレスは完全修飾ドメイン名または IP アドレスである必要があります。

ステップ7 保存を選択します。

IM and Presence サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence サービスを追加したら、クライアントが設定を取得できるようにそのサービスをサービスプロファイルに適用する必要があります。

始める前に

[IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)

ステップ1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)]インターフェイスを開きます。

ステップ2 [ユーザ管理 (User Management)]>[ユーザ設定 (User Settings)]>[サービス プロファイル (Service Profile)]の順に選択します。

[サービス プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Service Profiles)]ウィンドウが開きます。

ステップ3 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。

[サービス プロファイルの設定 (Service Profile Configuration)]ウィンドウが開きます。

ステップ4 [IM/プレゼンス プロファイル (IM and Presence Profile)]セクションで、次のドロップダウンリストから、サービスを最大3つ選択します。

- Primary
- セカンダリ
- ターシャリ (Tertiary)

ステップ5 [保存 (Save)]をクリックします。

IM アドレススキームの設定

この機能は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 10.x 以降でサポートされます。Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.x 以前のバージョンで使用されるデフォルト IM アドレススキームは、UserID@[Default Domain] です。

ステップ 1 [IM アドレス スキーム (IM Address Scheme)]を選択します。

- a) [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)]を開きます。
- b) [プレゼンス (Presence)]>[設定 (Settings)]>[詳細設定 (Advanced Configuration)]を選択します。
[プレゼンスの詳細設定 (Advanced Presence Settings)]ウィンドウが開きます。
- c) [IM アドレス スキーム (IM Address Scheme)]を選択し、リストから次のいずれかを選択します。

- UserID@[Default Domain]

ユーザ ID を使用する場合は、デフォルト ドメインが設定されていることを確認します。たとえば、サービスには cups ではなく、cups.com という名前を付ける必要があります。

- Directory URI

ステップ 2 必要なマッピングを選択します。

- a) [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)]を開きます。
- b) [システム (System)]>[LDAP]>[LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)]を選択します。
[LDAP ディレクトリの検索と一覧表示 (Find and List LDAP Directories)]ウィンドウが開きます。
- c) リストからディレクトリを検索して選択します。
[LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)]ウィンドウが開きます。
- d) [同期対象の標準ユーザフィールド (Standard User Fields To Be Synchronized)]セクションで、マッピングを選択します。

- LDAP フィールドにマッピングされるユーザ ID。デフォルトは **sAMAccountName** です。

- **mail** と **msRTCSIP-primaryuseraddress** のどちらかにマッピングされるディレクトリ URI。

メッセージの設定の有効化

インスタントメッセージング機能を有効にし、設定します。

ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)]インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [メッセージング (Messaging)]>[設定 (Settings)]の順に選択します。

ステップ 3 次のオプションを選択します。

- インスタントメッセージを有効にする (**Enable instant messaging**)
- クライアントでのインスタントメッセージ履歴のログ記録を可能にする (**Allow clients to log instant message history**)
- インスタントメッセージでの切り取り/貼り付けを可能にする (**Allow cut & paste in instant messages**)

ステップ 4 他のメッセージング設定も適切に選択します。

ステップ 5 保存を選択します。

重要 Cisco Jabber は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.0.x の [プレゼンスの設定 (Presence Settings)] ウィンドウで次の設定をサポートしません。

- [ユーザーの通話中に DND ステータスを使用する (Use DND status when user is on the phone)]
- [ユーザーがミーティングに参加しているときに DND ステータスを使用する (Use DND status when user is in a meeting)]

次のタスク

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.x 以降を使用している場合は、[IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)。

インスタントメッセージの設定の無効化

連絡先を展開する電話モードでは、インスタントメッセージが電話モードでの展開に適用されないため、ユーザのインスタントメッセージをオフにすることができます。

ステップ 1 [Cisco Unified CM IMおよびプレゼンス管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] から、[メッセージ (Messaging)] > [設定 (Settings)] に移動します。

ステップ 2 [インスタントメッセージを有効にする (Enable instant messaging)] をオフにし [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

Cisco XCP Router サービスを再起動します。

Q&A の管理プレゼンスの設定

ユーザのプレゼンス設定は、デフォルトで有効になっています。ただし、連絡先展開を使用した電話モードでは、プレゼンス設定を無効にしても、そのユーザはクライアントに表示されません。

ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] から、[プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] > [標準設定 (Standard Configuration)] に移動します。

ステップ2 [プレゼンス ステータスの共有を有効にする (Enable availability sharing)] をオフにして[保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

Cisco XCP Router サービスを再起動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。